

脳腫瘍グループ治療開発マップ

2025.8.

神経膠腫

対象		標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
初発 乏突起膠腫	Grade 2	IDH変異かつ 1p19q欠失 手術 + 経過観察 手術+放射線治療 手術+化学放射線治療 手術+ボラシデニブ	JCOG1016 放射線+テモゾロミド vs. 放射線+塩酸ニムスチン→テモゾロミド 2014.6~2021.5→2026.5		
	Grade 3	手術+放射線+テモゾロミド			
初発 星細胞腫	Grade 2	IDH変異かつ 1p19q無欠失 手術 + 経過観察 手術+放射線治療 手術+化学放射線治療 手術+ボラシデニブ	JCOG1303 放射線 vs. 放射線+テモゾロミド 2014.7~2022.1→2032.1		
	Grade 3	手術+放射線+テモゾロミド			
初発 星細胞腫	Grade 4	IDH変異かつ 1p19q無欠失 ±CDKN2A/B欠失 手術+放射線+テモゾロミド	JCOG1016 放射線+テモゾロミド vs. 放射線+塩酸ニムスチン →テモゾロミド 2014.6~2021.5 →2026.5	JCOG2303 放射線+テモゾロミド vs. 待機→ 放射線+テモゾロミド 2023.6~	放射線+ テモゾロミド + IDH阻害薬 2025~
初発 膠芽腫	Grade 4	IDH野生型かつ TERTp変異 又は EGFR増幅 又は Chr7増幅/10欠失			
びまん性正中 神経膠腫	Grade 4	H3変異 手術+放射線			
星細胞腫・ 膠芽腫	Grade 2-4	BRAF変異 手術+放射線+テモゾロミド BRAF + MEK阻害薬			

CCNU
PCV療法
2023~

脳腫瘍グループ治療開発マップ

2025.8.

神経膠腫

対象		標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
初発 膠芽腫	Grade 4		JCOG1703 全摘出（90%以上） 手術+放射線+テモゾロミド vs. 手術/ギリアデル+放射線+テモゾロミド 2019.6～2022.11→2028.6		CCNU 2023～
	20-70歳 生検・部分摘出	手術+放射線 +テモゾロミド ± NOVO-TTF	JCOG2209 造影病変全切除術 vs. 造影病変全切除+FLAIR高信号病変可容認切除 2023.7～	RT+テモゾロミド vs. RT+テモゾロミド+AFTV 2019～ RT+テモゾロミド vs. RT+テモゾロミド+TTF 2020～	
	20-70歳、 71-75歳全摘出		PC2412 プロトコール作成中 放射線+テモゾロミド vs. 放射線+テモゾロミド+高用量メトホルミン		
	71-75歳非全摘出、 75歳-	手術+40Gy寡分割照射 +テモゾロミド ± NOVO-TTF	JCOG1910 （放射線治療グループとの共同研究） 40Gy寡分割照射+テモゾロミド vs. 25Gy寡分割照射+テモゾロミド 2020.8～2024.3→2027.8		
再発 膠芽腫		ベバシズマブ			BNCTホウ素中性子捕捉療法 2016～
		手術±定位放射線治療			

RT: 放射線照射（局所）、AFTV:自家腫瘍ワクチン、NOVO-TTF：交流電場腫瘍治療システム、
BNCT：ホウ素中性子捕捉療法、MGMTp：MGMTプロモーター領域のメチル化

脳腫瘍グループ治療開発マップ 2025.8.

転移性脳腫瘍・中枢神経系悪性リンパ腫

対象		標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
転移性 脳腫瘍	手術適応のある 1-4個の転移	JCOG0504 手術+追加定位照射 		術前定位放射線治療 +摘出手術 2022~	
	手術適応なし	1-4個：定位放射線照射 多数個：全脳照射 または定位放射線照射		NOVO-TTF 2016~	
中枢神経系悪性リンパ腫		 メソトレキセート基盤（寛 解導入）療法±全脳照射	JCOG1114C メソトレキセート+全脳照射 vs. メソトレキセート+全脳照射+デモゾロミド→デモゾロミド 2014.6~2018.8→2028.8 		
			JCOG2104（医師主導治験） メソトレキセート基盤寛解導入療法（+シタラビン地固め） →プラセボ vs チラブルチニブ 2023.9~2027.2→2031.8 		
			JCOG2314 メソトレキセート基盤寛解導入療法 →全脳照射 vs チラブルチニブ 2025.8 ~ 		